

令和7年千葉市議会第1回定例会



市政報告会にて

令和7年3月16日(日)、千葉県知事・千葉市長選挙が同日の投開票となり、千葉県知事に熊谷俊人氏、千葉市長には神谷俊一氏と現職が当選し、共に2期目を迎えます。スマートになった県市間のさらなる連携や、未来に向けた政策に対しても、私どもも議論しながらお一人とともに県政・市政を前に進めるべく力を尽くして参る所存です。

令和7年第1回定例会は、2月5日(水)に開会いたしました。

5日は開会に先立ち、午前11時より毎年第1回定例会恒例となつて「議場コンサート」が行われ、マリンバなどを使った打楽器デュオ、ピアノ・クラリネットをバックにしたソプラノ歌唱を楽しませていただきました。

定例会は知事選・市長選の日程の関係から短縮日程となり、一般質問も2日間で自民党、立憲・無所属、公明党、共産党の各会派2名及び維新会派1名、無所属は4名中2名に限定して行われました。初日は13時開議後、諸般の報告、「会期の決定」、「議案自第1号至第55号、諮問第1号、発議第1号上程(提案理由説明)」、「請願第1号委員会付託」が行われ、本会議散会後、各会派に分かれての議案研究となり、7日(金)まで行われました。

10日(月)・12日(水)の2日間は、交渉4会派による代表質疑が行われ、12日本会議散

会後直ちに「予算審査特別委員会」が開催され、正副委員長の互選、分科会の設置及び委員の選任、正副主席の互選、理事会の設置が行われた後理事会が開催され、休憩をはさんで総括説明が行われました。

13日(木)からは予算審査特別委員会分科会が行われ、18日(火)まで続き、19日(水)には5常任委員会による予算議案以外の議案についての審査が行われ、終了後5つの予算審査分科会による指摘要望事項の協議が行われました。

21日(金)・25日(火)の2日間は一般質問が行われ11名が登壇し、その間に予算審査特別委員会理事会、議会運営委員会等も開催され、25日本会議散会後には予算審査特別委員会(分科会報告、意見表明、採決)が行われました。

最終日となる26日(水)には、今定例会の議案等に対する各委員長報告、討論、採決が行われ、今定例会に提出された議案はすべて承認・可決(組み替え動議は否決)、発議は否決、請願は不採択、追加議案として提出された人事案件はすべて

同意、最終日に提出された発議第2号から第4号(千葉市議会会議規則、千葉市議会委員会条例、千葉市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について)、及び第5号(意見書)は可決となり、最後に市長発言があり令和7年第1回定例会は閉会となりました。

市議会レポート

元気発信！花見川！ たんき和彦

かずひこ

令和7年度当初予算議案について

主な役職：立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／環境経済委員会委員／花見川地区保護司／花見川中学校区青少年育成委員会顧問
発行責任者：千葉市議会議員 段木和彦
発行所：花見川区花島町430-18
TEL：043(258)0958
FAX：043(286)9312
E-mail：dangi.s@codac.ocn.ne.jp
携帯：090-2325-3683

会後直ちに「予算審査特別委員会」が開催され、一般会計の歳入・歳出予算が5,512億円で、前年度比4,18億円8.2%増、企業会計を含む特別会計が総額4,597億500万円で、前年度比1,59億5,000万円3.6%増、全会計を合わせた規模は1兆109億5,000万円となり、前年度比5,77億5,000万円、6.1%の増となっており、一般会計と全会計は過去最大規模となりました。

当初予算を編成する基本的な考え方としては、第1次実施計画の最終年度を迎えるにあたり、事業費の精査を行つたうえで事業の推進を図り、子育て・教育・医療・介護・環境・防災・都市づくりなどを中心に、市民生活の向上や本市の発展につながる施策に重点的に予算を配分する「第1次実施計画事業等の推進」を一方の柱として、財政健全性に配慮した取組及び行政改革の取組を着実に推進するとともに、既存の事業について適宜事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図ることとする「財政健全性に配慮した取組及び行政改革の推進」をもう一方の柱としております。

また、担い手の確保・育成の視点から、地域経済の新たな担い手創出を目指す「起業家海外展開実践研修」「女性向け特定創業者研修」、将来世代の育成でも「アントレプレナーシップ(起業家精神)教育」においても高校生海外派遣が初導入されております。農業分野においても「ユーフォーマー育成研修」、「未来の千葉市農業創造事業」等、公共交通における運転手不足への対策

令和7年度当初予算議案 以外の議案について

今定例会に提出された予算議案以外の当初議案につきましては、議案第1号から第9号までの補正予算案（第1号は専決処分）9件、第28号から第51号までの条例議案24件、第52号から第55号までの一般議案4件、その他、諮問1件、発議1件、請願及び陳情が各1件となりました。

専決処分となった議案第1号は、国による低所得世帯に対する価格高騰重点支援給付金の実施に呼応し、「住民税非課税世帯への給付」「低所得の子育て世帯への加算」など給付金を速やかに支給するために要する経費の追加を令和6年12月17日に専決処分したものです。

補正予算は、国の補正予算に伴う定額減税調整給付金に伴う不足額給付に要する経費や、中小企業や高齢者・障害者施設等への支援など、本市独自の物価高騰対策、学校体育館の冷暖房設備や下水道施設整備等、防災・減災対策への経費などを計上いたしました。そのほかにも、地域防犯対策として防犯カメラ設置補助、保育所等ICT化推進等の保育環境の充実などが予算化されております。

条例の制定については4件で、児童福祉法の一部改正に伴う一時保護施設や乳児等通園支援事業の運営基準を定めるもの、こども・若者の権利の保障等に関するもの、動物愛護基金設置です。一部改正については20件あり、主なものは、千葉市職員の退職手当、勤務時間・休暇、自己啓発等休業に関するもの、地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員の基準に関するもの、認定こども園の運営基準や水道技術管理者の資格に関するもの、その他にも児童相談所条例、保育所設置管理条例、社会福祉審議会条例、コミュニティセンター設置管理条例、産業用地整備支援事業審査会設置条例、建築関係手数料条例、農業集落排水処理施設条例などの一部改正がありました。

一般議案は、土地の処分について、包括外部監査契約について、市道路線の認定について、諮問は督促についての審査請求についてでした。

議案はすべて承認・可決、発議は否決、請願は不採択、陳情は採択されました。また、追加議案である議案第56号から第67号の人事案件については同意、68号の家庭的保育事業等の運営基準に関する条例の一部改正、千葉市議会会議規則等の一部改正の発議第2号から第4号及び意見書の発議第5号については可決となりました。

としての人材確保・育成も盛り込まれております。このほかにも、健康・福祉においての「包括的支援体制の構築」等、環境・自然においての「2050年脱炭素社会実現に向けた取組」等、防災・減災においての「災害対応体制の強化」等、文化芸術・スポーツにおける「千葉国際芸術祭の開催」等、多くの事業が予算化されており、予算議案はすべて可決いたしました。

予算に裏付けられた千葉市の未来に向けた施策については、2期目を迎えた神谷市長とも議論しながら、千葉市政を前に進めて参りたいと思います。

【表面より続く】

花見川区の諸問題について

1. 旧花見川第二小学校正門及び通用門前の横断歩道について

道路を横断しています。

花見川中学校の敷地となつてゐる旧花見川第二小学校の正門及び通用門前の道路には、団地側から花見川第二小学校に通う児童のが今は消されています。

現在も花見川団方面から通う中学生が多く、花見川中学校正門までは遠回りとなるため、グラウンド内を通って通学できるよう配慮していただいていますが、その入り口が旧花見川正門となつていて、かかつて横断歩道を消去することについてご意見がある方は連絡して欲しい。旨、掲示板等により周知したが、意見は無かった。ため、再設置は難しいとの回答があつたとのことでした。

ただ、当時は周辺の状況も変わつてきており、子どもたちの安全のため横断歩道は必要かと考えますので、学校や地域の皆さまとも連携をとりながら、関係機関に働きかけて参りたいと思います。



旧花見川第二小学校正門前横断歩道跡

まず一ヵ所につきましては、元自治会の会長さんにもご協力いただき、まとめた後分別してみとして環境事務所に収集していただきましたが、ほかの場所につきましても日程を決め、ごみをまとめて分別して収集していただく予定です。

また、ごみを捨てさせない環境づくりも大切で、環境局資源循環部ほか関係各所と協議をしながら監視力カメラ設置やパトロール強化を進めるとともに、地域の皆さまにも周知してご協力いただくようお願いして参りたいと思います。



柏井町こてはし台側の不法投棄

2. ごみ不法投棄対策について

地域の方より不法投棄についてご連絡をいただき、確認のため現地に向かいました。現地では何ヵ所かまとめて投棄されている場所や、道路に沿つて点々とゴミが散らばっている場所があり、順を追つて整理していくこととした